

2024年度メディカルサイエンスカフェ実施報告

第1回	実施日	4月12日(金) 8:40~9:40
	場所	基礎研究棟第4講義室
	講師演題	黒田 啓介先生 名古屋大学大学院医学系研究科 特任准教授 「論文の読み方セミナー」
	参加者数	52人
	参加学生の声	・論文を無批判に信じてはいけないことがわかって良かったです。紹介されていた論文の内容はわかりませんでしたが、論文の構成などがわかって今後論文を読む時の参考になりました。
第2回	実施日	4月19日(金) 9:20~10:50
	場所	基礎研究棟第4講義室
	講師演題	松尾 恵太郎先生 愛知県がんセンター研究所がん予防研究分野 分野長 「観察研究から発がんの因果を問う」
	参加者数	39人
	参加学生の声	・がんは遺伝的であるというイメージが強かったが、意外と環境要因が重要だと分かった。自分も生活習慣を見直したいと思った。 ・ブラックボックスを明らかにすることなく疾患の原因を明らかにし予防に活かすというアプローチについて、具体的に詳しく知ることができてよかった。
第3回	実施日	5月10日(金) 8:40~9:40
	場所	基礎研究棟第4講義室
	講師演題	尾崎 紀夫先生 名古屋大学大学院医学系研究科 精神疾患病態解明学 特任教授 「メディカル AI 人材養成産学協働拠点(AI-MAILs)の紹介:実例をまじえて」
	講師演題	大山 慎太郎先生 名古屋大学未来社会創造機構 予防早期医療創成センター 准教授 名古屋大学医学部附属病院 手の外科 「AIによる医療デジタルトランスフォーメーションに向けて」
	参加者数	30人
参加学生の声	・AIや工学技術の導入で、臨床と研究の両方がすごく便利になることがわかって感動しました。 ・深いお話と砕けたお話とがあっても聞きやすかったです。AIの医療での活用法が自分が思っていたより幅広く、驚きました。	
第4回	実施日	5月17日(金) 8:40~9:40
	場所	基礎研究棟第4講義室
	講師演題	木村 宏 先生 名古屋大学大学院医学系研究科 研究科長・ウイルス学教授 「FROM BEDSIDE TO BENCH AND BACK AGAIN ! -臨床と基礎研究の融合を目指して-」
	参加者数	37人
	参加学生の声	・やはり医師というと臨床の医師のイメージが強く基礎でも臨床でも研究してみたいと思ってもどうすればよいか分からなかったのが大変参考になりました。 ・先生の実際の具体的な話を通して臨床と研究が密接につながっていることがわかったこと。

第5回	実施日	5月24日(金) 9:20~10:50
	場所	基礎研究棟第4講義室及びオンライン開催
	講師演題	前田 勇貴先生 名古屋大学大学院医学系研究科 博士課程3年 生体反応病理学所属 「なぜ、圧倒的少数派の基礎医学研究者を選んだのか」
	講師演題	深津 紀暁先生 名古屋大学大学院医学系研究科 博士課程3年 分子細胞学所属 「色々寄り道を経て研究生生活9年目」
	講師演題	齊木 颯先生 名古屋大学大学院医学系研究科 博士課程2年 分子細胞化学所属 「色々迷ったけど基礎にしました」
	参加者数	41人
	参加学生の声	<ul style="list-style-type: none"> ・学生のうちに研究をすることについて、実際の生活を非常に具体的にイメージできてよかった。 ・研究室は敷居が高いと思っていたが勇気を持って踏み出してみようと思いました。
第6回	実施日	5月31日(金) 8:40~9:40
	場所	基礎研究棟第4講義室
	講師演題	林 良敬 先生 名古屋大学環境医学研究所 内分泌代謝学 教授 「環境医学研究所における糖尿病研究」
	参加者数	21人
	参加学生の声	<ul style="list-style-type: none"> ・東山にも色々な研究室があることを知りそれらについてもっと知りたいと感じた。
第7回	実施日	6月14日(金) 9:20~10:50
	場所	基礎研究棟第4講義室
	講師演題	久保田 晋平先生 北海道大学遺伝病制御研究所分子神経免疫学分野 特任講師 「全細胞解析を用いた生命システムの理解と制御」
	講師演題	小澤 慶先生 Institute of Diabetes and Regeneration Research, Helmholtz Center Munich Postdoctoral Researcher 「新米の基礎医学研究者として海外で働いてみて」
	講師演題	深谷 亮太先生 名古屋大学大学院医学系研究科 細胞生理学 助教 「雑感」
	参加者数	25人
参加学生の声	<ul style="list-style-type: none"> ・大学を卒業してから初期研修をするかどうかを迷っていたのでさまざまな意見を聞いて良かったです。 ・先生方の話で印象に残ったのは、卒業後の進路選択のアドバイス、それからプログラミングの重要性など。とてもモチベーションをあげてもらい、朝から気合いの入る日になった。 	
第8回	実施日	6月28日(金) 8:40~9:40
	場所	基礎研究棟第4講義室
	講師演題	由良 義充先生 名古屋大学医学部附属病院循環器内科 病院助教 「心血管病の謎を解く：クローン性造血の発見と研究者への道のり」
	参加者数	21人
	参加学生の声	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床に出てから研究に従事するというキャリアの人の話が聞いて参考になった。また、進めている研究の説明がとてもわかりやすかったので、今自分が進めている基礎セミナーのプレゼン制作に役立てることができそうだなと思った。臨床を踏まえているからこそ持ち合わせている視点をもとに研究を進めているということがわかった。 ・焦らずやりたいことを探せばいいとおっしゃっていて安心しました。